

降臨節 第二主日

特祷

慈しみ深い神よ、あなたは悔い改めを宣べ、救

いの道を備えるため、預言者たちを遣わされまし

た。その警告を心に留め、罪を捨てる恵みをわた

したちに与え、贖い主、イエス・キリストの来臨

を、喜びをもって迎えることができまますように、

主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

《旧約聖書》

イザヤ書

第11章 1節から10節

1 エッサイの株からひとつの芽が萌えいで

その根からひとつの若枝が育ち

2 その上に主の霊がとどまる

知恵と識別の霊

思慮と勇気の霊

主を知り、畏れ敬う霊。

3 彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。

目に見えるところによって裁きを行わず

耳にするとところによって弁護することはない。

4 弱い人のために正当な裁きを行い

この地の貧しい人を公平に弁護する

その口の鞭をもって地を打ち

唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。

5 正義をその腰の帯とし

真実をその身に帯びる

6 狼は小羊と共に宿り

豹は子山羊と共に伏す。

子牛は若獅子と共に育ち

小さい子供がそれらを導く。

7 牛も熊も共に草をはみ

その子らは共に伏し

獅子も牛もひとしく干し草を食らう。

8 乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ

幼子は蝮の巢に手を入れる。

9 わたしの聖なる山においては

何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。

水が海を覆っているように

大地は主を知る知識で満たされる。

10 その日が来れば

エッサイの根は

すべての民の旗印として立てられ

国々はそれを求めて集う

そのとどまるところは栄光に輝く。

に、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい。

8 わたしは言う。キリストは神の眞実を現すた

めに、割礼ある者たちに仕える者となられたので

す。それは、先祖たちに対する約束を確証され

るためであり、9 異邦人が神をその憐れみのゆ

えにたたえるようになるためです。「そのため、

わたしは異邦人の中であなたをたたえ、あなたの

名をほめ歌おう」と書いてあるとおりです。10

また、「異邦人よ、主の民と共に喜べ」と言わ

れ、11 更に、「すべての異邦人よ、主をたたえ

よ。すべての民は主を賛美せよ」と言われていま

す。12 また、イザヤはこう言っています。「エッ

サイの根から芽が現れ、異邦人を治めるために

立ち上がる。異邦人は彼に望みをかける。」13

希望の源である神が、信仰によって得られるあ

らゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、

聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくだ

さるように。

ローマの信徒への手紙

第15章 4節から13節

《使徒書》

4 かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを

教え導くためのものです。それでわたしたち

は、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続

けることができのです。5 忍耐と慰めの源

である神が、あなたがたに、キリスト・イエスに

倣って互いに同じ思いを抱かせ、6 心を合わせ

声をそろえて、わたしたちの主イエス・キリスト

の神であり、父である方をたたえさせてください

ますように。7 だから、神の栄光のためにキリ

ストがあなたがたを受け入れてくださったよう

《福音書》

マタイによる福音書

第3章 1節から12節

だ」などと思ってもみるな。言っておくが、神は

こんな石からでも、アブラハムの子たちを造り出

すことがおできになる。10 斧は既に木の根元に

1 そのころ洗礼者ヨハネが現れて、ユダヤの荒

置かされている。良い実を結ばない木はみな、切り

れ野で宣べ伝え、2 「悔い改めよ。天の国は近

倒されて火に投げ込まれる。11 わたしは、悔い

づいた」と言った。3 これは預言者イザヤによ

ってこう言われている人である。

改めに導くために、あなたたちに水で洗礼を

「荒れ野で叫ぶ者の声がする。

授けているが、わたしの後から来る方は、わたし

『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ』

よりも優れておられる。わたしは、その履物をお

4 ヨハネは、らくだの毛衣を着、腰に革の帯を

脱がせする値打ちもない。その方は、聖霊と火で

締め、いなごと野蜜を食べ物としていた。5 そ

あなたたちに洗礼をお授けになる。12 そし

こで、エルサレムとユダヤ全土から、また、ヨル

で、手に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいに

ダン川沿いの地方一帯から、人々がヨハネのもと

し、麦を集めて倉に入れ、殻を消えることのない

に来て、6 罪を告白し、ヨルダン川で彼から

火で焼き払われる。」

7 ヨハネは、ファリサイ派やサドカイ派の人々

が大勢、洗礼を受けに来たのを見て、こう言

った。「蝮の子らよ、差し迫った神の怒りを免

れると、だれが教えたのか。8 悔い改めにふさ

わしい実を結べ。9 『我々の父はアブラハム

しへん だい へん せつ せつ
詩編 第72編 1節-8節

きとうしょ ペーじ
祈禱書 777頁

みなさま りんじ せつ とん
皆様は太子の節を唱えてください。

あと ことば ひとこきゅう
|| 後の言葉は、一呼吸おいてからよみましょう。

かみ せいぎ おう あた せいぎ おう こ さず
1. 神よ、あなたの正義を王に与え || あなたの正しさを王の子に授けてください

おう ただ たみ おさ せいぎ まず ひと はか
2. 王が正しく民を治め || 正義をもって貧しい人を計らうように

やま たみ へいわ おか ただ み
3. 山は民に平和をもたらし || 丘は正しさの実をもたらす

おう まず ひと うった き まず もの こ すく けんりよく ふ もの う くだ
4. 王は貧しい人の訴えを聞き || 貧しい者の子らを救い、権力を振るう者を打ち砕く

かれ たいよう さか つき い なが
5. 彼は太陽のように栄え || 月のように生き長らえる

まきば お つゆ ち うるお あめ おう く
6. 牧場に降りる露のように || 地を潤す雨のように王は来る

かれ おさ よ ただ ひと さか つき かぎ へいわ つづ
7. 彼が治める世には、正しい人が栄え || 月のある限り平和が続く

おう うみ うみ かわ ち は しはい
8. 王は海から海まで || 川から地の果てまで支配する